

# 正

# 賀



嵐山町長 孝光 佐久間

## あけまして

## おめでとう

## ございます

昨年5月に、新型コロナウイルスも2類相当から5類に引き下げられ、社会も急激に動き出し、コロナ禍前の日常を取り戻し始めました。家族や友人と会うことができる、対面で話ができる、一緒に歌い、踊り、飲食をともにできる等々、コロナ禍前は当たり前であった日常が、どれだけ貴重なものであったかを再認識させられた一年でした。その様な状況下にあっても、インターランプ内の物流倉庫は完成し、関越自動車道利用者には、新たな嵐山町の姿を見ていただけるようになりました。また、町内の飲食店や小売店にもお客さんが戻ってきたようにも感じます。しかし、コロナ禍の影響を受け、廃業に追い込まれた店舗があることも事実です。商工会や観光協

会とも連携し、できる支援は実施してまいります。さて本年は、駅西整備や花見台工業団地の拡張工事も完成し、また、引き続き志賀地内の歩道整備も進めてまいります。学校再編の議論はいよいよ正念場を迎えます。皆様からのご意見を真摯に受け止めながら、次世代を担う子どもたちにとって何が大切なのかを第一に考え、方向性を定めてまいりますと思います。「人が宝のまちづくり」むさし台の素晴らしい取組みは、以前ご紹介しましたが、広野二区の方々、山道を切り開き、下草刈りを行い、頂上には立派な展望台を築きました。私もここ数年は、この展望台から元旦のご来光を拝み、一

年のスタートを切らせていただいております。夏祭りはもちろん、芋煮会、餅つき等々子どもから若者、先輩の方々まで和気あいあいと語りあっております。古里地区では、小学生が兵執神社に獅子舞を奉納し（町指定文化財）、大人たちは御囃子や歌を歌い、地域の方々がその姿を見守っております。若い先輩たちも駆けつけ、祭りを盛り立て、後輩の面倒を見ており、敬老会も盛大に行われております。町全体では、新規就農者である嵐丸塾生やその関係者を中心に、着実に若い農業者が育ちつつあります。外国人の農業者も現れ大変頼もしい限りです。彼らは、自らの目標達成のため黙々と働いています。このように町内には素晴らしい人材が着実に育ちつつあります。一生懸命汗を流しておられる方々は、楽しみながら多くの方々に喜びを与え、町づくりに貢献をしてくれています。これこそ、「人が宝のまちづくり」です。宝の人材には、嵐山町が支えられています。感謝。



嵐山町議会議長 一人 森

# 謹賀新年

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、輝かしい希望に満ちた新春を健やかに迎えられましたことと心よりお慶び申し上げます。

8日から季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行しました。今後、法律に基づいた外出自粛の要請などはなくなり、感染対策は個人の判断に委ねられ、3年余り続いた日本のコロナ対策は大きな節目を迎えました。しかしながら今後も地域で流行が広がる場合には重症化リスクの高い人を守ることを心がけ、流行状況に応じて優先度を切り替えて行動していくことが必要であると存じます。そして今一度、人と人との繋がりを見つめ直していただき、更なる地域コミュニティの発展にお力添

えをお願いいたします。また、嵐山町議会におきましては昨年9月の嵐山町議会議員選挙により新たな構成になりました。更なる「開かれた議会」の実現のために、議員一同、しっかりと努めてまいります。嵐山町議会は、これからも町民の皆様の声を大切に、町の各種施策・事業においてのチェック機能の強化に取り組んでまいりますので、今後とも皆様の一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

年頭に当たり、嵐山町議会を代表致しまして、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。日頃から、嵐山町議会に對しまして深いご理解と、議会活動に對する温かいご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。さて昨年来を振り返りますと、新型コロナウイルスの位置づけが、5月

新しい年が皆様にとりまして、希望に満ちた素晴らしい年になりますことを、心からご祈念申し上げます。年のごあいさつといたします。